

日本人スタッフ乗船！地球最古の大地・最も神秘にあふれる世界へ
南極半島&サウスシェットランド諸島クルーズ 16日間

3名から催行

アルゼンチン
南極半島2015年
3月13日(金)～3月28日(土)新千歳発着
旅行代金 1,185,000円(予価)東京発着
1,165,000円(予価)※その他の空港発着については
お問い合わせ下さい

〈利用予定航空会社〉アルゼンチン航空、デルタ航空、コンチネンタル航空、アメリカン航空、全日空、日本航空など 〈利用予定ホテル〉ウスワイア/ラスレンジス、アルバトロスまたは同等クラス

〈利用予定客船〉アカデミック・サージ・パピロフ号またはアカデミック・アイオフィー号(1室3名利用)※2人部屋利用ご希望の場合は料金アップ。詳しくはお問い合わせ下さい 〈食事〉朝 12回・昼 12回・夕 12回 〈1人部屋追加料金〉35,000円(予価：ウスワイアのホテル2泊のみ) 〈最少催行人数〉3名 〈添乗員〉3～5名様の場合は現地係員がお世話します。6名様以上は新千歳空港から全行程同行します。

■査証／不要 ただし環境省への届出が必要(※弊社にて行います)
■パスポート残存有効期間／入国時6ヶ月以上
■燃油サーチャージ・空港諸税は別途申し受けます
(目安:60,000円 ※2014年1月現在)

- ポイント**
- クルーズ船には日本人コーディネーター乗船！
見どころやポイントを日本語で詳しく解説！
 - 見渡す限りのペンギンコロニー、アザラシ、クジラ、海鳥などたくさんの動物を間近に観察！
 - 特殊の小型ボート“ゾディアック”に乗り換えて様々な島に上陸！レベルや好みに合わせて散歩やハイキングも
 - ゴム長靴 & 防寒服の無料レンタル付き！



▲ベッド、机など完備の客室(イメージ)



▲ペンギンのコロニーを間近で観察。好奇心旺盛なのでペンギンの方から人についてくることもあります



▲小型ボート「ゾディアック」で島に上陸

▲神秘的な色合いを見せる氷山の間にぬってクルーズ船は進みます



南極半島の気候

設定シーズンの3月は南極半島の夏の終わりです。平均気温はマイナス5℃位。昼間の暖かい時にはプラス2～5℃ほど。南極といえども極端な寒さはありません。じっくりのんびりと、神秘の大自然を体感しましょう。

お申込時の注意事項

- お申込時に申込金として200,000円をお支払いいただきます。
- 当ツアーに関しては、クルーズ約款規定により、お申込時より取消料金が**かかります**。その後も、旅行開始日より起算した取消日により、キャンセルされた場合は、規定の取消料がかかりますのでご注意ください。
※詳細につきましては、『クルーズ旅行条件(要約)』を記載したパンフレットをご用意しています。併せて極地クルーズについてのQ & Aやクルーズ中の服装などについてもご案内していますので、送付ご希望の方はご請求下さい。
- クルーズ約款規定により、必ず海外旅行傷害保険にご加入いただきます。
※クルーズの取消規定が厳しいため、『クルーズ旅行取消費用補償特約』の追加加入をおすすめします。詳しくはお問い合わせ下さい。

地 名	行 程	食事
1 新千歳 成田または羽田 成 田	(午前)新千歳→(午前)成田または羽田 (午後)成田→北米乗継都市 《日付変更線通過》	一機 機中泊
2 乗継都市 フエノアイレス ウスワイア	(深夜～早朝)北米乗継都市→ (午前～午後)フエノアイレス→(夕刻)ウスワイア 着後、ホテルへ。	一機 機中泊
3 ウスワイア	南米最南端の街ウスワイア市内&郊外観光(ティエラ・デル・フェゴ国立公園、世界の果て鉄道、監獄博物館など)。	朝 機中泊
4 ウスワイア クルーズ1日目	午前、クルーズ準備など、出発までフリータイム。 午後、乗船。いよいよ南極半島に向けて出発 【クルーズ船中泊】	朝 機中泊
5 クルーズ2日目	ドレーク海峡を通過しサウスシェットランド諸島へ向かいます。キングジョージ島やリビングストン島では、無数のペンギンやアザラシたちに遭遇。ドレーク海峡通過後、船内スタッフの紹介と上陸用のゾディアックボートの乗り方など、スライドを見ながら説明があります。	全日・朝 機中泊
6 クルーズ3日目		全日・朝 機中泊
7 クルーズ4日目		全日・朝 機中泊
8 クルーズ5日目	いよいよ南極半島に到達。天候と氷の状況が良ければ、ポーレット島、パラダイス湾、クーバビル島へ上陸します。ポーレット島はアデリーペンギンの営巣地。クーバビルではジェンツーペンギンの大コロニー、そして元イギリスの科学基地だったポート・ロックロイでは、ペンギンや鵜の繁殖地が見られます。船上では、そびえ立つ岩肌やスベタルな氷山の間を抜け、ヌーメアやメルメル海峡などの美しい光景に心を奪われることでしょう。さらに船は南のピーターマン島へ。ここはブルーアイコブやトウゾクカモメ、ペンギン達のコロニーです。航海中は、南ケルプカモメ、ウミツバメ、南極アザラシ、シャチ、ザトウクジラ、ミンククジラなど多数の動物に遭遇する可能性があります。	全日・朝 機中泊
9 クルーズ6日目		全日・朝 機中泊
10 クルーズ7日目		全日・朝 機中泊
11 クルーズ8日目		全日・朝 機中泊
12 クルーズ9日目	南極半島を後に、ドレーク海峡を抜け北進。探検スタッフのレクチャーを聴きながら、ゆったりとしたクルーズの時間を過ごしながら、寄港地ウスワイアへ。	全日・朝 機中泊
13 クルーズ10日目		全日・朝 機中泊
14 クルーズ11日目 ウスワイア フエノアイレス	午前、ウスワイア到着。朝食後、下船。クルーズ終了。 (午後～夕刻)ウスワイア→フエノアイレス (夜)フエノアイレス→	朝一機 機中泊
15 乗継都市	(朝午前)北米乗継都市→ 《日付変更線通過》	機中泊
16 成 田 成田または羽田 新千歳	→(午前)成田/(午後)成田または羽田 →(夕刻～夜)新千歳	機中泊

※現地の諸事情により、多少行程が変更となる場合があります。また、天候状況などにより、予定の上陸地に立ち寄れない場合もあります。あらかじめご了承下さい。